

『静岡コンクリート診断士会 2021年度見学会』の開催

日 時：2021年11月18日（木）13:30～16:30

場 所：(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 <https://www.cmi.or.jp/>

参加者：当会正会員・賛助会員、芝浦工業大学 伊代田研究室（計55名）

内 容：今回は、当会技術顧問である谷倉様が技師長を務める施工技術総合研究所内を見学させていただきました。

全国各地から運び込まれた撤去後の土木構造物が集積され、間近で観察しながら各々の考察や意見を交換することができました。

なお、見学に当たっては研究第二部の小野部長、松本次長、設楽主幹にもご説明いただきました。



はじめに谷倉技師長からご挨拶をいただいた後、小野研究第二部部长より施工技術総合研究所の紹介をしていただきました。



紹介後、2班に分かれて施設内の見学を開始。こちらは伊代田教授と研究室の学生さんを中心とした班の様子です。職員の方より説明を受けた後、劣化した構造物を撮影したり、伊代田教授の解説を受けながら意見を交わしたりされていました。



自動交通遮断器の実演です。全国に約500か所、静岡県内にもいくつか設置されているとのことでした。



大型疲労試験装置です。最大6,000kNの載荷重で、その大きさに圧倒されました。



輪荷重疲労試験機です。
疲労試験後の撤去床版では、真下に潜ったり床版の上に乗ったりと、様々な角度から観察を行いました。



緊急仮設橋です。実際の上を歩きましたが安定感があり、また、緊急時に使用できるよう工夫が凝らされていました。コンクリート構造物ではありませんが、新しい技術や製品を知る良い機会になりました。



もう 1 班は谷倉技師長に案内をしていただきました。
こちらは、撤去後研究所に持ち込まれた床版と壁高欄です。サンプル数が多く、どのように劣化が進行していくのかがよく分かりました。



反応性骨材を用いて製作した供試体でASR の観察を行いました。



大型載荷試験機（画像左）と鋼製床版の疲労亀裂（画像右）の説明を受けました。



塩害で劣化した PC 桁です。触れると剥がれ落ちるのでは、と不安になるような箇所もありました。また、供用時に補修された跡や再損傷を生じている状況も見受けられました。



塩害を受けた PC 床版（上下反転しており、下面の剥落している状況）です。ここまで劣化が進行したものを間近で観察できる機会はありませんではないでしょうか。



模擬トンネル（画像左）と実橋から撤去された床版（画像右）です。模擬トンネルでは、実際に点検や補修に関する実験が行われていました。床版の置かれている隣では、床版防水の施工試験が行われるそうです。

【おわりに】

2年ぶりの見学会開催ということで、大変多くの会員に参加していただきました。また、当会技術顧問の伊代田教授と研究室の学生の皆さんにもご参加いただき、活気にあふれる見学会になったかと思えます。ここで掲載した以外にも多くの構造物や施設を案内していただき、実際に見て触れることのできる有意義な時間でした。ご協力いただきました、谷倉技師長をはじめとする施工技術総合研究所の皆様、ありがとうございました。



●参加者全員で記念撮影●

マスク着用や手指の消毒、検温等にご協力いただきありがとうございました。

